



**ゲ**ル特性に富むIcerossはそれ自体で快適性の向上をもたらしますが、吸着式懸垂方法は他にも切断者の快適性に関わる問題を解決します。

- 1) 遊脚相では、ソケット内の真空状態がライナーをソケット内壁に保持しますので、断端のポリウムは維持され、またライナーが軟部組織を圧搾することはありません。
- 2) 加えて、義足重量は組織液を断端に引き下げます。組織液の流れはよりバランスのとれたものとなり、断端ポリウムの変化は最小化されます。

**他**にも吸着式下腿義足には利点があります。

- ①着脱が簡単ですので、使い勝手に優れます。
  - ②ぴったりとした確実な適合が得られます。
  - ③ピストン運動が最小化されるため、義足の体感重量を非常に軽く感じます。
  - ④皮膚、ライナー、ソケットの密着により、切断肢の感覚器の働きが高まり、③とも関連して、義足との一体感が強まります。
  - ⑤装着者の受け入れやトレーニングが容易。
- 義足の着脱作業が簡単で、機構部品なども無いため、義足の取扱いについての指導が簡単で、切断者も容易に理解することができます。
- ⑥機械的部品が少ないため、破損の恐れが少なくなります。
  - ⑦ゲル特性に優れたライナーとの組み合わせにより、重篤な傷を負いにくくなります。
  - ⑧製作や義足の組み立ても簡単です。
  - ⑨皮膚にセンシティブ箇所や傷を負いやすい箇所のある場合に対処しやすい。

➤ のようなことから、今後吸着式下腿義足は、ゲル特性の高い柔らかいIcerossデルモのようなライナーとの組み合わせで数多く使われていくことが予測されます。

一方で、吸着式下腿義足では、ソケット近位から大腿部にかけて装着するサスペンションスリーブの耐久性と関節動作制限が大きな課題として挙げられています。また、断端ポリウム変化の大きな新規切断者への適用については避けるべきとの見解もあり、全ての切断者に適用できるシステムでないことも留意すべきです。

現在、オズール社ではサスペンションスリーブを用いない新たな吸着式下腿義足専用Icerossライナーの開発も進められており、近いうちに日本のお客様に紹介できるものと期待しております。

## Iceross他オズール社商品 最新資料のご案内



新しくオズール社Icerossについての総合的資料が完成しました。ご依頼のお客様に関連資料とあわせてお送りいたします。ご希望の方は、ニュース同封のアンケート葉書に「オズール資料希望」とご記入の上、弊社までお送り下さいませ。